

令和5年度 第1回浪速区政会議

日時：令和5年7月10日

場所：浪速区役所3階集団検診室

○小林総務課担当係長

定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第1回浪速区政会議を開催いたします。意見交換会に御出席いただきました皆様、引き続きよろしく願いいたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、総務課担当係長の小林です。よろしく申し上げます。

それでは、開会にあたりまして、浪速区長の幡多より御挨拶申し上げます。

○幡多区長

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

連休が明けてコロナが2類から5類に変わりましたが、人の流れや動きが活発になってきて、コロナの感染もじわじわ増えてきています。また犯罪がかなり増えてきていまして、やっぱり人の流れとか動きが戻ってくると、それだけ課題が出てきます。顕在化してきている防災や防犯、地域福祉やくらしの身近な問題にしっかり対応していくとともに、区制100周年、大阪・関西万博の機運醸成にも着実に取り組んでまいります。

今日は重要課題がいっぱいあるんですけども、その中から、3つのテーマをピックアップさせていただいて、区制100周年、がん検診・特定検診の受診率の向上、それから地域防災訓練の参加促進ということで、この3つのテーマについて、意見交換をしていただきました。

私はグループでお話しいただいているところにちょっとずつ入らせてい

ただいたんですけれども、いろんなアイデアを出していただきました。この後、出していただいた御意見について、皆様でも共有いただいて、またさらにそれに対する御意見を頂戴できたらと思っております。

今日は、新しい試みということで、オンラインでの御参加もいただいております。瀬川委員です。こちらには来られないですけれどもほかの場所であれば参加できるということで、初めてオンラインを併用した区政会議を開催させていただきました。

こんなふうに、効率的・効果的にできるだけ多くの方に参加をいただいて、御意見をいただけるような工夫もちょっとずつではありますけれども、重ねていきたいですし、区政会議の運営に関して、お気づきのことがあれば、忌憚のない御意見を頂戴できればと思っております。今日も限られた時間ではありますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

○小林総務課担当係長

本日は区政会議委員17名のうち、20時10分現在、14名の御出席となっており、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項の規定によりまして、本会の成立をここに御報告いたします。

また、本日はお忙しいところ、区内選出の市議員の方にも御出席いただいておりますので、私の方から御紹介させていただきます。

森山議員でございます。

○森山議員

御苦労様です。よろしく願いいたします。

○小林総務課担当係長

なお、竹下議員につきましては、遅れてこられると聞いておりますので、来られましたら後ほど御紹介させていただきます。両議員には、会議の最後に御助言を頂戴することとなっておりますので、よろしく願いいたし

ます。

では、議事に入ります前に、留意事項を申し上げます。

区政会議及びその議事録は公開を原則としています。会議終了後、議事録を作成しホームページ等で公開いたします。本日の会議においても、録音させていただくとともに、会議風景を撮影いたしますので、御了承ください。

お手元の資料に、配付資料一覧がございますが、資料に不足がございましたら、手を挙げて事務局のほうへお知らせください。

それでは、ここからの議事進行は、寺田議長にお願いすることといたします。

寺田議長よろしくお願ひいたします。

○寺田議長

皆さん、こんばんは。議長の寺田でございます。

ここからは皆様の御協力いただき、私のほうで議事を進めてまいります。よろしくお願ひをいたします。

本日は区政会議前に、意見交換会が行われておりますが、当会議におきましても皆様方より広く意見をいただきたいと思います。なお、発言の前に委員のお名前を名乗ってから発言をお願いいたします。時間も限られておりますが、より多くの方のご意見をいただくため、誠に勝手ではございますが、私のほうから御発言をお願いすることもございますので、御協力よろしくお願ひいたします。

また、本日は、夜間の会議でございますので、午後9時ごろまでには終了させていただければと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願ひいたします。

それでは、議題1「令和4年度浪速区運営方針の評価について」、区役

所から説明をお願いいたします。

○事務局

事務局の柴川でございます。よろしくお願いいたします。

私から議題の1「令和4年度浪速区運営方針の評価について」、御説明をいたします。

「資料5-1」を御覧ください。「資料5-2」というのは、運営方針そのものでございますけれども、非常にボリュームがございます資料ですので、それを要約したものが「資料5-1」になりますので、資料の「資料5-1」に基づいて説明をさせていただきます。

委員の皆様には、昨年度の区政運営について、私からの説明後の議論などを踏まえまして、「資料5-3」評価シートによって、それぞれ4段階で評価をしていただくこととなります。この評価シートは冒頭でも、お渡ししてございます。この場で書いていただいても結構でございますし、後日、提出していただいても結構でございます。

それではまず「資料5-1」について、御説明を申し上げます。

令和4年度の運営方針に掲げるこの取組は、コロナ禍でございましたけれども、実施方法の工夫などにより全ての事業を予定どおりに実施することができました。

まず1ページ目を御覧いただけますでしょうか。左から経営課題とございまして、「安全・安心で住みやすいまちづくり」とございます。

そこにP3と書いてございますけど、これは運営方針そのものの3ページを御覧くださいというこういうことでございますので、詳しくお知りになりたい方は、該当するページを開けていただくようお願いいたします。

1つずつ説明するんですけれども、まず防災力の向上につきまして、地域防災訓練、これは区として初めて全地域で実施をいたしました。災害時

に1人では安全に行動できないそういった高齢者の方や障がい者の方々の避難支援につなげるため、浪速区の個別支援プランの取組について全地域へ説明を行うことができました。モデル地域として大国地域、それから浪速地域のこの2地域で取り組んでいただきました。

それから、1-2、防犯・まちの安全の取組でございます。子どもの安全確保につきまして、通学路の安全プログラムによる通学路の課題解決、それから小学校を対象とする防犯教室の実施、こども110番の家事業の継続確認等に取り組むことができました。

次にまいります。経営課題2、「健やかで人と人がつながるまちづくり」でございますが、2-1、地域福祉の推進につきましては、大国地域、塩草地域において、要援護者名簿を活用した地域見守り会議を開催しました。

それから2-2、健康づくりの推進のところでは、特定健診、各種がん検診の受診率について、啓発や勧奨に努めた結果、受診者数の増加につなげることができました。

経営課題の3でございます。「安心して子育てができ、子どもたちがいきいきと学べるまちづくり」についてでございます。

3-1の子育て層への支援については、福祉的課題を抱える家庭を直接支援していくことにより、引き続き、重大な児童虐待ゼロを維持することができました。

また、3-2の学校教育支援についてでございますけれども、各小学校において放課後に児童が宿題等の自主学習ができるよう指導員を配置してございます。令和4年度は浪速区全体での成果指標こそ未達成でございましたけれども、教室に参加したことがある児童に限りますと、数値が大きく改善されてございます。

経営課題の4でございます。「人が集い、にぎわいと活力のあるまちづくり」でございます。4-1「にぎわいと活力」の創出でございますが、「なにわの日」事業として、21件のイベントを取りまとめて情報発信するなど、区の広報紙やホームページ、SNSを通して、浪速区の魅力を区内外に発信してございます。

新今宮駅の高架下用地を活用し、民間事業者が運営する新たなおもてなしとして、にぎわいの拠点「さんかくち」において、観光情報やまちの魅力の発信、にぎわいの創出を行うことができました。

それから、その次の4-2「国際都市大阪への貢献」でございますが、多言語を情報配信ツール「カタログポケット」と申しますけれども、それを活用した情報発信に取り組んでおります。同ツールの周知方法の工夫、それから区で実施する事業のチラシ等、他言語版で作成するなど、引き続き利用促進に取り組んでまいります。

次のページの3ページ目でございます。経営課題の5番目でございます。「人と人がつながり、住民が主体となって進めるまちづくり」でございます。

地域活動協議会の活動状況や地域の特性をまとめた地域レポートを、全11地域で作成するとともに、井戸端会議を開催し課題や将来像を共有するなど重点支援課題を設定し、課題解決に向けた支援を開始することができました。

さらに、より多くの区民の皆さんが地域活動協議会や地域活動を知って活動に参加していただくため、広報紙やホームページ、SNSを通じての情報発信に取り組みました。

令和4年度の運営方針の評価に係る説明は、以上でございます。評価シートにつきましては本日提出いただく場合は、お帰りの際に机の上に置い

ていただくか、後日提出いただける場合は、返信用封筒にて、7月末までに区役所の方にお送りいただければと存じます。

私からの説明は、以上でございます。

○寺田議長

ありがとうございました。

それでは、議題1について、御意見、御質問等ございませんでしょうか。何かございませんか。

特にないようですので、次の議題に移ります。

それでは、議題2「その他 意見交換会の内容報告」ですが、まず事前に行いました、意見交換会での意見などをテーマごとに各グループから報告していただきます。その後、一括して意見交換を行いたいと思います。

それではまず、共通テーマの区制100周年について、グループ1から順番に報告をよろしく願いいたします。他のテーマについては、この後に御報告をいただきますので、まず区制100周年についてお願いいたします。

グループ①の発表者、新井委員、よろしくお願いをいたします。

○新井委員

新井です。グループ①で区制100周年について、いろいろ議論をさせていただきました。まず区制100周年は令和7年4月1日、もうあと2年ほどしかありません。何も決まってないような状態ですが、これは実行委員会が7月の下旬に発足しますので、そこで詳しいこと等はもう決めていく必要がある。もう本当に待ったなしの状態にきていると思います。

今回、議論させていただいた中で、区民まつりをこの100周年に向けて取り組んでいったらどうかということ、昔の写真や100周年のスケジュールを中心にした区民まつりに、PRコーナーを作る、令和6年度に100周年区民まつりとして、浪速公園で開催する。スポーツセンターや難波中公園でや

るよりも、浪速公園でやったほうが、広くて場所も取れるし、いろんなことができますので、浪速公園で開催する。

また、団体の寄付だけでは賄いきれませんが、地域振興会とかいろんなところから協力していただくということをやったらどうか。その実行委員会の中で、また実行委員会のワーキングとか各企業団体さんの協力も得ながら、これから進めていかなあかんということ、皆さんとお話しました。

以上です。

○寺田議長

ありがとうございます。

次にグループ②の発表者の千葉委員よろしくお願ひします。

○千葉委員

千葉でございます。区制100周年について、話し合いをしたことを御披露させていただきます。

このタイミングで100周年を迎える区が9つあるようですが、やはりその中でも、子どもたちに浪速区においてよかったなと言ってもらえるような、そういったイベントを展開したい。

については、まずいろんな意見があったんですが、1つは、Tシャツをですね、浪速区に入ったら、皆さん同じTシャツを着ていると思われるぐらいたくさん着てもらいましょう。代表だけが着ている、イベントをしている人だけ着ているじゃなくて、道を歩いたら、同じTシャツを着た人がたくさんおると。子どもたちもですね、学校に提供して、すべての子どもに着てもらおう。小学校、中学校、高校もありますね。浪速区の子どもたちは、みんな同じTシャツを着ていると、そういう100周年のシンボルとしてのTシャツをですね、広く採択したいなという意見がありました。

ほかに実行委員会の中に、個人のメンバーだけじゃなく、企業、法人を代表するような方々を含めて、参画したほうが広まるのではないか。例えば、たくさんの企業に参画していただいて、協賛金なんかも募っていきたい。それを資金に、Tシャツを作っていくということが大事だと。

また、前回の会議の話があったなにお音頭ですか、こういうのがあるのを知らんかったんですが、非常に素晴らしい、これはもう浪速区の名前がどんどん出てくる。通天閣は出てくる、十日戎は出てくる。それと浪速区の地名がどんどん歌詞の中に出てくる。そういう歌があちらこちらで歌われている、年寄りはもとより、子どもまでですね。幼稚園ぐらいの子まで歌っていると。そういうようなこの2年間ですか、実質的には1年半ぐらいですか、ずっとそれが歌っているというような、そういうような雰囲気づくりをしたらどうかなど。

それと、昔の浪速区の歴史とか、昔の生活の在りようを写真だとか、そういうものを集めて展示する場合はは、展示品がさえる、輝くようなそういった場所を選んで、みんなが行きたいなど、うわさを聞いていてすごいと、次から次へと人が集まるようなそういった場所で、展示するようお願いしたいなというふうな話がありました。

以上です。

○寺田議長

ありがとうございました。

ちょっとね、時間も大分10分押しているのです。私が言うの忘れたんですけども、この発表を1分をお願いしたい。今4分ぐらいかかっているねん。

次にグループ③の発表者の交野委員、よろしくをお願いします。

○交野委員

前回の区政会議で、皆さんからいただいたアイデアやそれ以外の新たなアイデアの中から皆さんと、一押しアイデアは何かというような形でお話をさせていただきまして、まず前回の部分から抜粋させていただいている分で、8ミリビデオの上映などをして盛り上げていくということもありまして、昔の映像であるとか、先ほどの御意見にもありましたように、こういった写真そういったものを活用して、盛り上げていったらどうかというようなお話もありました。

また、学校や保育の場で、保護者、親子そろって取り組めるような進め方というものをしてはどうかということで、浪速区にはいろんな方が新たに入ってこられたり、あるいは出られる方もおられますけども、特に新たに入られた方には、積極的に参加していただけるような状況を作るためにも、やっぱり保護者を巻き込んで、親子一緒にとということでのお話もありました。

また障がいをお持ちの方も参加できる取組といたしまして、ドローンを活用してメッセージカードを作成して、それを撮影するといった意見や、あるいは浪速区に関するキャラクターを子どもたちから募集して、それを活用して冊子にするとか、あるいはカルタを作って、みんなで遊び、学ぶみたいにしていくのもよいのではないかとというような御意見等もありました。いずれにしても、多くの方が取り組めるようなそんな盛り上がるような有効な形にさせていただきたいなというふうに思っております。

よろしいでしょうか。

○寺田議長

ありがとうございました。

続いてですね、グループ④の発表者の武守委員、よろしくお願いします。

○武守委員

武守です、よろしくお願いします。

皆さんで話し合った結果、100という数字は、やはり特別な数字であります。浪速区100の秘密をまとめて、100個の知らなかった浪速区のこと、写真や企業とか場所とか全てをそちらの方に集約して、今流行っているポケモンカードみたいに、皆さんに集めていただけるスタンプラリーのようなものを催したいと思っております。こうすると旅行者の方や住んでいる方、子どもからお年寄りまで、みんなが自分で参加できるってというようなものになるのではないかと。

QRコードでデジタルスタンプなど、そういった遊びの要素も入れて、浪速区のクイズ、例えば浪速区の北の端は一体どこなのだとか。スタンプラリーしたものをSNSで写真を付けて発信してもらったり、そういったものを、浪速区100の秘密としてまとめるということになりました。

それとそういう100の秘密に出てくるキャラクターとして、やはりどうしても浪速区の公式キャラクターが欲しいと、キャラクターがないというのが肩身が非常に狭いので、公式キャラクターをこの機会に作ってはどうかと。

また、いろんな企業が浪速区にもありますし、浪速区で一番大きな企業は今どこなのかって話をしましたら、南海電車とかいろいろ話をしたんですが、やっぱりクボタという会社が一番大きいんじゃないかということで、浪速区100周年として、クボタの100年記念のトラクターが発売できたら面白いんじゃないかということになりました。

その中でいろんな実行委員会があるとは思いますが、その中で堅さの中に面白さがある、面白さの中に堅さがある、そういった事業ができたらいいなと思っています。

高齢者の方も散歩できるような内容のものであったり、観光客の方や子

どもさんがスタンプラリーで、浪速区の端から端まで、いろいろウロウロしていただけるような事業ができたらいいなと思います。ぜひ、若い方のアイデアを入れていただきたいということでございます。よろしくお願ひします。

○寺田議長

ありがとうございました。

ストップウォッチで測ったら約2分8秒でした。1分で発表は無理ですね。

続いて、安全安心なまち部会の「地域防災訓練の活性化について」、グループ①から御報告をよろしくお願ひします。雑野委員よろしくお願ひします。

○雑野委員

雑野です。グループ①の「地域防災訓練の活性化について」発表させていただきます。

まずより多くの地域住民の方に参加いただくためのアイデア、どういうものがあるかということで議論させていただきました。

令和5年度は約半数の地域で、同日に避難所開設運営訓練を行う予定なんですが、次年度については、全地域で開催するという案が出ました。

次に、訓練実施前に地域の保護者、PTAなどの子育て層を巻き込んだ世代間交流を実施する。

また、地域特性に合った訓練が必要、これについては、開催日程も含めて、必要じゃないかという御意見です。

次に、実際の訓練時の避難行動などを訓練する。避難所開設運営訓練の開設所まで遠かったりとか、あるいは、もっと近くで耐震補強が終わっているような大きな建物等がある場合は、そういうところに行かれるんじゃない

ないかということで、実際の避難行動などを訓練した方がいいのではないかと御意見が出ております。

次に、特に子育て世代である20歳代から40歳代の若年世代の参加を促すための仕掛けやPR手段などのアイデアで、どういうことがあるのかということで、まず若い世代が求めているものを見つける。例えばどのようなことを、若い世代の方が求めているのか、もう少し掘り下げて見つけていく方がいいのではないかと御意見です。

次に、様々なイベントで、世代間交流を行う。それによってPR活動です、ということをもう少し積極的に周知できるのではないかと御意見です。

そのほかとして、参加したい、参加してよかったと感じるような訓練とするためのアイデア。これもどのような形で、そう思っただけか、あるいは参加したいという方を増やしていけるかということで、もう少しいろんなアイデアを募った方がいいのではないかと御意見が出ております。

以上でございます。

○寺田議長

ありがとうございました。

続いて、グループ②の千葉委員にお願いしたいと思います。

○千葉委員

防災訓練に若い世代の参加を促す仕掛けということですが、若い世代の人たちも自分の子どもが小さいときは、学校のルートやPTAのルートを通じて参加してはったということなので、防災訓練がある場合は、PTAを通じて動員をかけるということも、大事かなという意見がありました。

それと、避難所開設運営訓練と言いますけども、実際には訓練のための

訓練で、災害の形態によって避難の仕方というのは様々あります。防災訓練で皆さんが集まったときに、地震が来たときには、その後で津波が来る、津波が来たときには垂直で逃げないかと、大きな火災のときは、水平に逃げましょうと、そういった人が集まった場でしっかりとお話をしていくということが大事だよと。

そして、さらに日頃、顔を見せない方々や顔見知りでなかった方に訓練に参加してもらい、こんなところにお年寄りがおったという顔あわせもしていききたいという話がありました。ほかもあったのですけれども、この辺で割愛します。

○寺田議長

ありがとうございます。

子育て教育・福祉部会の「がん検診、特定健診事業について」、グループ③から中田委員よろしくお願ひいたします。

○中田委員

中田です、よろしくお願ひします。

検診事業について、受診率が低い原因の1つとしては、忙しい人が多いのではないかと、自営業の方などは特に有給がない、仕事優先、家事優先になって、特段の症状がなければ、後回しになってしまうというのが、1つの原因かなと。

それともう1つの原因として、お金がかかる、高いっていうのがあるので、できるだけ安くできればいいのかなということでした。

実際の対策方法としての意見ですけれども、線虫検査というのが、今簡単な検査で、がんがすぐ分かるというのがあるらしいので、そういう方法を導入してはどうかという意見がありました。

また、受診者に関しては、景品、宝くじを付けるとか、ポイントを付け

るとかいうので、ちょっと盛り上げて食い付いてもらったらいかがかなというふうな意見もありました。

あと、マンモグラフィーなどは、やっぱり女性の方が「痛い」とか「怖い」というのがすごい印象にあるので、そうじゃないよということを、実際に相談窓口を開設するかすれば、そういう不安もなくなるのかなと思います。

あと、受診できる医療機関は、もうちょっと分かりやすく文字だけではなく、地図みたいな形で、地域の回覧板などでお知らせしてはいかがかなという意見もありました。

あと、子育てに忙しい人にも周知できるよう、集いの広場であったり、保育所等での周知を増やす。あと、24時間ジムや、逆に喫煙スペースでがんのポスターで啓発するとか、そういう意見等ありました。

以上です。

○寺田議長

ありがとうございました。

続いて、武守委員、よろしく申し上げます。

○武守委員

ふだんこのがん検診が、どういうふうに周知されているかといいますと、町会の掲示板にチラシを貼ったり、ポスターを貼ったりしているということです。ふだんは広報紙で周知して、年1回。また国民健康保険の緑の封筒にチラシが入っていたり、電話勧誘をされているということでした。

たくさんの方に、この検診を受けていただきたいんですが、ほとんどはやっぱり社会保険の方が多んじゃないかという意見です。国保と社会保険の割合でいうと、社会保険に入っておられる方が多んじゃないかということなので、パーセンテージは少ないんですが、社会保険の方の検診を

入れると、結構な数字になるんじゃないかということです。

多額の費用をかけずに、受診に結びつける方法としては、これはお金をあげると言っても、申し込みはなかなかしないんじゃないかと。今も3,000ポイントを進呈されていたり、万歩計を進呈していることがあるそうですけれども、行政が何かをあげるということには、かなり裏がありそうな感じがするとそういう意見でございます。

チラシのタイトルのキャッチコピーを変えてみたらどうかということで、キャッチコピーについては、局がAIに考えさせたこともあったということですが、年代によってキャッチコピーを変えてみるのもいいんじゃないかと。あと、平日設定とか難しいのではないかと、夜間や土日メインで協力を得られる病院情報などがあればいいと思います。あと、飲食店勤務の方も多いので、この地域の特徴としては、やっぱり飲食店に勤めておられる方、お店をやっている方はやっぱり平日はなかなか行きづらいと、夜間や土日メインで検診を受けられるような病院だとか、施設があったらいいかと。

あと、全部一緒に全ての検診を受けられるような検診セットがあればいいという意見でございました。

以上です。

○寺田議長

ありがとうございます。

○小林総務課担当係長

竹下議員が、遅れてこられましたので、御紹介させていただきます。

○竹下議員

こんばんは、よろしくお願ひします。すいません、遅くなって。

○寺田議長

ありがとうございます。

それでは、各グループからの御報告をいただきましたので、意見交換を進めてまいります。

特に、部会テーマについて、御自分の部会とは別の部会のテーマに対する御意見があれば、この場でお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

武守委員、よろしくお願いいたします。

○武守委員

先ほど我々の意見とは別ですけれども、避難訓練は我々のほうでも、子どもたちが参加したりしたんですけれども、受付のところで、「どこの町会ですか」と聞かれたり、「どの町会に入っておられますか」という質問をされた。もうこれ訓練だからできましたけど、実際に災害が起こったときに、どこの町会ですかというのを、知っている方がほとんどいらっしゃらないのでは。また、通りがかりの人が避難してきたときには、その町会がどうとかっていう話には、なかなか答えづらいのではないかと。

それが避難訓練であろうが、もし本当に避難することであれば、町会がどこだということが、関係あるのか。あんまり避難訓練においても、実際避難するにしても、町会がどうだとか、町会に参加しているかどうかということが、必要ないんじゃないかと、うちの家族が言っておりましたので、御報告させていただきました。

○寺田議長

区役所のほうから回答をお願いします。

○松原市民協働課長

市民協働課の松原と申します。貴重な御意見ありがとうございます。

町会ということではなく、本来は住所地ごとにある程度被災者の方が分

かれば、安否確認ということが非常に重要なところもありますので。例えば、何町の何丁目からどれぐらいの方が避難されてきているかということ、ちょっと確認いただくために、町会が一番分かりやすいという形になっているのかなというところもあるんですけども。そこは今の御意見も含めまして、また地域の皆様方とも検討していけたらなというふうに思います。ありがとうございます。

○武守委員

できたら、今はそういうマイナンバーカードとかあるので、病院でやるような、ピッとやっていただいたら、それでどこに住んでいるか、すぐ分かるようなシステムが、今ではできるんじゃないかなと思いますので。

うちの家族が聞いたらしいんですね、なぜこれが必要なんですかと。前からやっていますからという、コメントだそうで。前からやっていることであれば、変えていくような工夫が、もしできるならばよろしく願いいたします。

○寺田議長

ほかにございませんか。

そろそろ時間も迫っておりますので、意見交換はこれぐらいにしたいと思います。予定よりもかなり遅れております。20分以上遅れているんですけど。

この辺で意見交換を終わりたいというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

それでは、議題2「その他 浪速区地域福祉ビジョンについて」、区役所から、説明をお願いします。

○矢田保健福祉課長

保健福祉課長の矢田でございます。それでは浪速区地域福祉ビジョンの

取組期間延長について、説明させていただきます。お手元にあります「資料 6 浪速区地域福祉ビジョン」というところを見ていただけないでしょうか。

この地域福祉ビジョンなのですけれども、24区がそれぞれ策定しているものなのですけれども、大阪府で策定しています地域福祉基本計画の考え方を基に、区の特性や区民のニーズなどを踏まえて策定をしております。令和元年11月に策定しました現在の浪速区地域福祉ビジョンでは、取組期間を令和5年度までの5年間としておりましたけれども、今回期間を1年間延長し、令和6年度、令和7年3月までとするものでございます。

期間延長の理由でございますが、本日、当日配付資料としてお配りしております「資料 6-1」を御覧になっていただきたいと思っております。1枚ものの資料お手元にありますでしょうか。この資料なんですけれども、昨年3月に開催されました24区の区長が区政について話し合います、区長会議において確認されました。各区の地域福祉計画策定に係る指針でございます。

こちらの資料の③の部分に記載されておりますように、現在、各区の計画期間は、バラバラで統一はされておりませんが、3年とすることが妥当との方向性が、こちらで示されております。

そうすることで、4年が任期である区長が、必ず策定に関わることができるとともに、3年ごとに計画改定を行っております、大阪府の地域福祉基本計画の考え方を基に策定が可能となるものでございます。

「資料 6 浪速区地域福祉ビジョン」、一番最後のページを御覧になってください。こちらのほうに、今後のスケジュールをお示ししておりました。

今般、浪速区地域福祉ビジョンの取組期間を1年延長しまして、令和7

年3月までとすることで、令和6年4月に策定される、大阪市地域福祉基本計画の考え方を基に地域の皆様の御意見を伺いながら、区の特性或区民のニーズなどを踏まえ、新たな地域福祉ビジョンの検討を行うことが可能となります。

取組期間につきましては、指針の方向性を踏まえ、令和7年度から9年度までの3年間とし、第2期浪速区地域福祉ビジョンを策定したいと思います。御了解のほどよろしく願いいたします。

この浪速区地域福祉ビジョンの表紙を開いて1ページ目のところに、下にビジョンの推進期間として、令和6年3月での6年間と記載していますが、申し訳ございません、令和7年3月の記載誤りです。訂正いたします。

また、今般の期間延長とともに、2ページ目以降の数値などの時点修正を行っておりますので、御確認のほどどうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

○寺田議長

ありがとうございました。ただいまの区役所からの説明について、御意見、御質問などございませんか。

特にないようですので、次に移らせていただきます。

それでは、報告事項について、一括して区役所から説明をお願いいたします。

○柴川企画調整担当課長

企画調整担当課長の柴川でございます。それでは私のほうから、3点続けて報告事項について御説明を差し上げます。

まず資料でいきますと「7-1」を御覧ください。令和5年度の浪速区運営方針（素案）からの主な変更点についてでございますけれども、番号

1 から 3 まで項目がございますけれども、基本的に算出方法の変更であったりとか、時点の更新であったりとか、平成 4 年度末時点で判明した指標の達成状況を踏まえまして、目標値を変更したものでございます。

令和 5 年度の運営方針の詳細につきましては、後ろにつけてございます。「資料 7-2」あるいは「資料 7-3」を御確認いただくようお願いいたします。

続けてまいります、資料 8 を御覧ください。区政会議における主な意見・回答・対応等一覧についてでございます。

まず最初の 1 ページ目が令和 3 年度の区政会議において、それから 2 ページ目以降が昨年度、令和 4 年度の区政会議で、皆様方から御意見を頂戴し、それに対する区役所の対応ということになってございまして、対応状況を一覧にまとめたものでございます。どのように区政に反映されたのか、皆さんからいただいた意見がどのように進捗しているのかというところ、時点更新してございます。

右側の対応の状況が、④の実施中または対応済みとなるまで、この区政会議の場で、報告させていただくものでございます。本日いただいた御意見も、ここに追加してまいりまして、次回以降に対応状況を報告させていただきます。

続けてまいります、資料 9 を御覧ください。令和 5 年 1 月、前回実施いたしました区政会議の場におきまして、皆様からいただいたアンケートをまとめたものでございます。

まず設問の 1 でございますけれども、活発な意見交換がなされているかという設問に対して、100%の皆様が肯定的な御意見を頂戴いたしました。前回 84.6%でしたので、本当にありがとうございます。100%という割合で結果が出てございます。

それから設問の2でございますが、意見や要望が適切にフィードバックされているかという問いに対して、これにつきましても、100%の皆様方に、肯定的な意見ということで評価をしていただきました。前回92%でしたので、100%になったということでございます、本当にありがとうございます。

アンケートで皆様から頂戴いたしました改善策について、その下に記入がございます、会議資料のことであつたりとか、意見の取り上げ方などについて御意見を頂戴してございますけれども、今回のWebによる会議の参加など新しい試みにも挑戦してまいりますので、今後も御協力いただければと存じます。いずれも後ほど御一読をよろしくお願いいたします。また、本日も会議の最後にアンケートご用意してございますので、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えてございます。

報告は以上でございます。

○寺田議長

ありがとうございます。

それでは最後に、全般にわたって御意見等ございませんか。

○小川委員

すいません、1点だけいいですか。

○寺田議長

はい、小川委員。

○小川委員

委員の小川でございます。浪速区の区政会議の部分で、令和5年の10月以降、11地域があるんですけれども、8地域ぐらいが新しい区政委員の方が選出されるということなんですけれども、新しい区政委員になられた方に対してですね、事前の説明という部分が、必要じゃないかと思うんですけれども、そこら辺の部分はどうなんでしょうか。

○柴川企画調整担当課長

区政会議を担当してございます柴川でございます。10月1日から新しい方の任期ということになりますけれども、新しい委員の方にですね、9月の中旬以降に、説明会をさせていただこうという予定でございます。

以上でございます。

○小川委員

ありがとうございました。

○寺田議長

ほかにございませんか。

木村委員。

○木村委員

先ほどアンケートの結果を聞いたんですけども、これ有効回答数が15ということで、先ほどお聞きした17人中14人が出席やから、有効やという話だったんですけども。これ回答のない委員さんというのが、かなりあるんやったら、全員が肯定的ではないのかなという気もするので、そこら辺についてのフォローはどうなっているのでしょうか。

○柴川企画調整担当課長

恐れ入ります。当日欠席、本日も3名ほどいらっしゃいますけども、そういう方の数が載ってないということでございます。

以上です。

○木村委員

出席の方、皆さん回答ということですね。

○柴川企画調整担当課長

はい。

○木村委員

分かりました。ありがとうございました。

○寺田議長

ほかにはございませんか。

ないようでございますので、それでは総括を区長のほうから、お願いをしたいと思います。

○幡多区長

ありがとうございました。本当にたくさんの御意見いただきました。時間のない中なんですけど、区制100周年の今後の取組について、資料2を御覧いただけたらと思います。

皆様方からも御意見いただきましたように、企業さんにできるだけ御参画、御協力をいただきたいと思います。もちろん企業さんだけでなく、浪速区内にはたくさん活動していただいている団体さんがあるので、そういう団体さんにもご参画いただきたい。

企業さんは、個別に入っていただくんじゃなくって、例えば警察や消防などの関係団体や企業さんで構成されている協議会など、まず団体として入っていただいて、でも実質、各個別企業さんがいらっしゃるとい、そういうような形で実行委員会への御参画をお願いしたいと思っています。

ただ、たくさんの団体に入っていただくので、いろいろ意見交換をしていただいても、なかなかまとまらないと思いますので、大きな方向性に関しては、実行委員会で御承認をいただき、実質的な議論は、この下の企画会議、それからさらに具体的な取組については、ワーキングで行っていただきます。できるだけ若い方のアイデアや創意工夫とか実践力とか、これからの浪速区を背負っていただくと、引っ張っていただくと若い方たちの力を、ここに得たいと思っておりまして、特にワーキングのところは、比較的若手の方にも、参画をいただいて進めていけたらと思っています。

ます。

各個別の企業さんに関しては、この右側にあるパートナー企業ということで入っていただいて、一緒に100周年をお祝いする何らかの取組をしていただく、あるいは協力いただく、あるいは参画いただくことを考えています。

こういう体制で進めていく中で、アウトプットのいろんなイベントとか、活動とか出てくると思いますが、これに関しては、子どもたち、それから高齢者の方、障がいのある方、皆さんがそれぞれに楽しんでいただけるような、そういう事業にしていきたいと思っています。せっかくの100周年なんで、今ある事業をちょっと変えるとか、少し新しいことをやってみるとかすることで、次のターニングポイントみたいな感じになればいい、100周年をそういう記念の年にできたらと思っています。これから検討が始まっていきます。委員の皆様方にも、ぜひとも応援をしていただきますよう、よろしく願いいたします。

あと、防災訓練とがん検診・特定健診についても、具体的なアイデアを今日かなり頂戴したと思います。これについては、各担当の方でそれぞれできること、できないこともあるかもしれませんが、いろいろ検討を進めて施策事業のほうに反映させていきたいと思っています。

本日は本当にありがとうございました。

○小川委員

あと、1点だけいいですか。

浪速区制100周年ということで、資料2のところ、実行委員会の推進体制イメージという部分で、我々ちょっと議論したんですけど、実行委員会のメンバーについては、区民まつりの実行委員会の約70名の方を、実行委員にというお考えをお持ちですか。

○幡多区長

そうですね。区民まつりは実行委員会形式でやっていまして、その実行委員会には、主だった浪速区の活動団体にたくさん入っていただいているので、その団体には、ぜひともこの実行委員会に御参画をいただきたいと思っております。

○小川委員

はい、分かりました。

○寺田議長

区長、ありがとうございました。

最後になりましたが、本日お忙しいところ御出席いただきました、森山議員、竹下議員に、本日の御助言などをいただければと思います。

まずは、森山議員、時間の関係上、3分程度でよろしく申し上げます。

○森山議員

皆様、いつも大変御苦労さまです。今日も有意義な区政会議が行われたというように思いますので、これからもよろしく願いいたします。

今の100周年の話もありましたけど、100周年はもうあと2年後ということで、これはどんどん議論して進めていかなきゃならないというふうに考えております。

今の日本ですけど、100年前の人口は、日本は今は1億2000万人の半分の6000万人やったというふうに言われておるんですけども、100年前は寿命も半分というようなことなんですけども、それから浪速区も100年経ったということなんですけども。

それと、次にいろんなお話があったんですけども、災害の避難訓練のお話もありましたけども、今、温暖化がどんどん進んでいるということで、今日も九州のほう、福岡とか大分のほうで大変な災害がありましたけども、

どんどん災害の内容も変わってきておるといふふうに思いますので、こういうふうなことを議論していく中で、どんな災害が起こるのかと。コロナもそうです、今までは4年前までのコロナなんて考えなかったような災害でこういうことが起こったので、こういうことを議論、どんどん皆さんとともに進めていってほしいなというふうに思っております。

また、健康診断の受診率ということですが、健康診断でも今5万円で連絡をしたら、おしっこを取るだけでがんが分かるというふうな検査方法が出てきたりということで、これもどんどん進歩しておりますので、そういうことを一遍有意義に使ってほしいなというふうに思います。

それとか、災害時に逃げるときですけれども、武守委員からもありましたけれども、マイナンバーカードをこうやって持ってシュシュとするだけで、その方がどこの人かすぐ分かる。そしてその人がどういうものが必要であるとか、介護から全部わかるような時代がもうすぐ来るかも分かりません。そういう議論も大変大事だなというふうに思います。

これからどんどん時代も変わっていくと思いますので、こういうふうな区政会議で、どんどん新しい意見を出してもらいまして、浪速区の安心・安全のまちづくりを進めていってほしい、そのように思っております。

私も皆様とともに、大阪市の浪速区の安心安全で住みよいまちづくりを目指して頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。今日は御苦労さまです。

○寺田議長

ありがとうございました。

続いて、竹下議員、よろしく願いいたします。

○竹下議員

ちょっと遅参いたしましたして申し訳なかったです。前半はちょっと聞けな

かったんですけども。どうしても話が重なっちゃうので、私から1点だけ。地域防災訓練の避難所設営についてですけれども、全ての町会は見せていただいてないんですけども、できるだけ見るようにしてきました。これまで何カ所か回らせていただいて、当初始めた頃より、かなりスムーズにはなっているのかなと思います。やっぱり皆さんも回数重ねられてやってきたことが、訓練のための訓練ですけども、その辺はかなりスムーズにできてきているんじゃないかなと。このままこういった形で、また新しいことにチャレンジしながら進んでいかれたら、大変皆さんが助かるんじゃないかと思いますので、一言だけです。

今日はどうも皆さんお疲れ様でした、ありがとうございます。

○寺田議長

ありがとうございました。本日の議題は、以上でございます。委員の皆さん方には、円滑な議事進行に、御協力いただき感謝いたしております。では、マイクを事務局へお渡しいたします。

○小林総務課担当係長

議長ありがとうございました。最後に事務局より事務連絡がございます。机前にお配りしています、令和4年度浪速区区政会議委員評価シート、それから区政会議に関するアンケートについては、できるだけこの場で記入をお願いいたします。

なお、本日ご意見を頂戴する時間を十分にお取りできませんでしたので、アンケートの一番最後に、その他御意見等がございましたら、という欄がありますので、そちらの欄に本日この場で言い足りなかった御意見がございましたら、御記入いただければと思います。

もし、今ご記入いただく方がおられましたら、席上に置いていただき、順次、御退席いただければと思います。持ち帰って記入される方は、返信

用封筒で7月31日までに、区役所へ御提出願います。

それでは、これもちまして、令和5年度第1回浪速区区政会議を閉会とさせていただきます。本日は、お忙しい中ありがとうございました。

—了—